

現代トイレ論

—究極のトイレット・ワールド—

42期生

I テーマ設定の理由

昨秋から今春にかけてクラブの研究として鈴木と藤瀬の2人は一年先輩の田中真砂史さんと共に『現代トイレ考—トイレに対する10の提言—』というテーマで研究してきた。もっとも今年の2月に行われた文化系クラブ発表会で発表したのがご存じの方も多いことだろう。それ以来すっかりトイレのとりことなってしまった2人は、指揮をとられた田中真砂史さんの熱き意志を受け継いで、今夏も再びトイレについて研究しようと決意した。また田中さんの穴を埋める為、即戦力ルーキー・社会部現部長の奥田を獲得することにもなった。

ではこれから私達3人が繰り広げるトイレット・ワールドを十分に満喫して下さい。

II 研究方法

- (1) 意識調査 附中生全員に公衆トイレについての意識をアンケートという形で実施。
(7月13日、14日の両日、終礼時依頼)
- (2) 現地調査 大阪中の様々な施設のトイレをできる限り調査。(1)の論証)
- (3) 結論 『真の公衆トイレとは?』(文献と(1)(2)のまとめから)
- (4) 参考 日本トイレ協会の存在&音楽と便通の関係(協会長への手紙)

III 研究内容

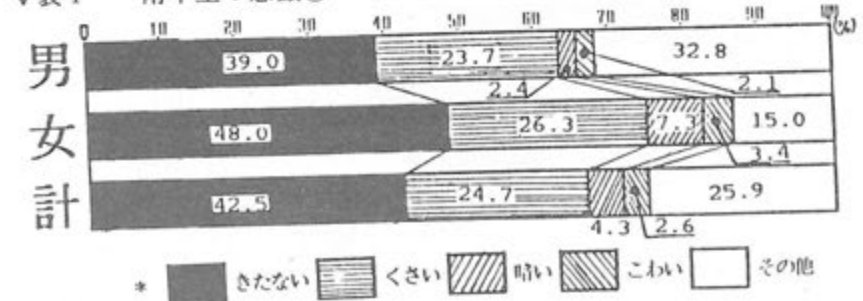
1 附中生のトイレ意識

- (1) 調査事項
質問数は全部で7。その中からこの場では5つの質問についての結果を載せる。
- (2) 調査結果

① トイレの印象について

表1を見て載ければわかるが、男女共に多いものから「汚い」「臭い」「暗い」

▼表1 附中生の意識① 『トイレの印象』



「怖い」の順になっている。トイレおたくの間ではこの4つを特に4K(Kitanai, Kusai, Kurai, Kowai)と呼び、現代の公衆トイレの大きな問題の1つに数えている。またその中でも極めて多いのが「汚い」。これは附中生の美的感覚の高さを物語っているといえる。

② 5施設の公衆トイレ印象チェック

表2にそのまま結果を載せてある。また公は公園、競は競技場、図は図書館、そして百は百貨店を意味する。6つ質問があるのだが、いずれも順位は同じである。また男女共順位の変動は全くない。分布をみるといずれも公園が独走で首位、続いて駅、競技場は互角、かなり離れて図書館、更に離れて百貨店と評価されている。それにしても見事にくっきりと結果が出てしまっている。

質問/順位	1	2	3	4	5
くささ度	公	駅	競	図	百
暗さ度	公	駅	競	図	百
きたなさ度	公	駅	競	図	百
せまさ度	公	駅	競	図	百
さけたさ度	公	駅	競	図	百
使いにくさ度	公	駅	競	図	百

▲表2 附中生の意識②
『公衆トイレ印象チェック』

③ 公衆トイレ好感度ランキング

表を作るまでもない結果である。②の順位の逆である。平均値も男女共ほぼ同じようなものである。分布も②の逆の分布を示している。

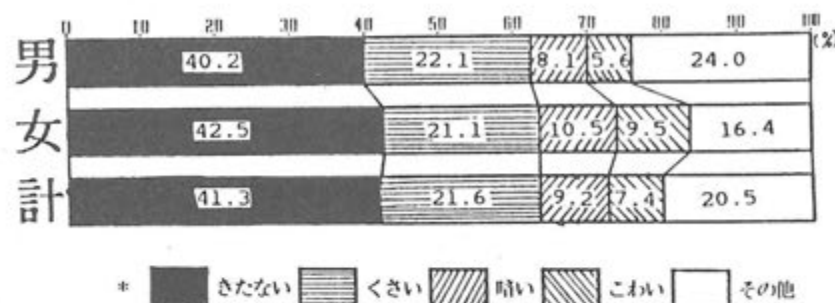
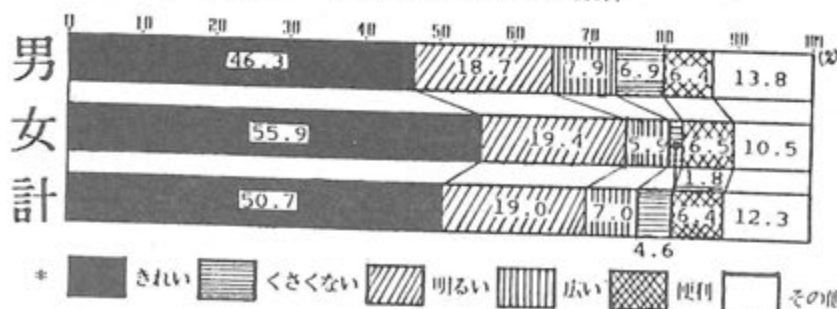
④ さけられるトイレの条件

表3を見ればわかるが、非常に表1と似通っている。また複数回答を可としたので「暗い」「怖い」といったものの割合が増加している。表1と表3が似通るといえるのは、人間が現代社会の現実から『印象=相手の悪い点』といった残酷的思想を強く持つようになってきたことを示しているのではなからうか。

⑤ 使いやすいトイレの条件

必ずしも表3の正反対の結果を示すとは言い切れない。「臭い」の反対「臭くない」は総合5位であるし、「怖い」の反対「安全」はグラフ圏外の6位である。逆にいえば「広い」「便利」などは表1、表3ではグラフ圏外であった。結局ここでは使いやすいトイレだからといって逆4K(綺麗、不臭、明るい、安全)であればいいとは言い切れないということがわかった。

▼表3 附中生の意識④ さけられるトイレの条件



▲表4 附中生の意識⑤ 使いやすいトイレの条件

(3) まとめ

あまりにもアンケートの結果が模範的すぎて感動した。このアンケートに協力して戴いた466名の方々、どうも有り難う御座いました。(鈴木)

2 大阪トイレット調査録

(1) 調査事項

アンケート結果の裏付けを行う為、様々なトイレの「汚さ」「臭さ」「暗さ」「恐さ」の4K、加えて「狭さ」の全部で5項目を独自の採点規準を用いて5段階に評価した。更に、障害者対策を考える為に身体障害者用トイレの設置状況も調査した。

調査の対象となったトイレは、駅30か所、百貨店5か所、図書館2か所、競技場2か所、公園2か所、博物館4か所、飲食店3か所、住宅5か所、スーパー2か所、街角トイレ1か所、オフィスビル2か所、市役所1か所、裁判所1か所の計60か所であるが、この凡てを紹介するのは紙面の都合上まず不可能なので、其の中から今回は8月13日に行った大阪環状線一周トイレ調査行」と8月30日に行った「主要百貨店トイレ調査」の調査結果を報告しておく。

(2) 調査結果報告

(1) 大阪環状線一周トイレ調査結果

一般的に駅のトイレはそれぞれ設備も環境も違う状態にある為、その単純比較は非常に困難な作業である。此の事は調査結果(表参照)より明確に判断出来る。

駅のトイレの特長は、①飾り気が無く、②極めて実用的で③工夫や優れた設備もあまり見られないという所である。しかし、障害者用のトイレを設置している所が結構多く、驚かされた。(スーパーや百貨店、飲食店等の障害者用トイレの普及率は大変低く、我々が調査を行った所は殆ど設置されていなかった)

調査して気付いたのは、何と云ってもまず使用者のマナーが悪いという事である。特に大きい駅になる程そういう傾向が強くなっている。

我々はもっと公共物に対する美化意識を育てていかねばならない様だ。

▼表5 大阪環状線一周トイレ調査結果

	汚	臭	暗	怖	狭	身
天王寺	3	4	3	1	3	無
寺田町	4	4	4	4	3	無
桃谷	4	4	4	3	3	無
鶴橋	4	4	4	5	3	有
玉造	3	3	3	2	3	有
森ノ宮	3	3	4	3	4	有
大阪城公園	4	3	4	3	5	無
京橋	3	3	4	2	3	有
桜ノ宮	4	4	4	5	4	無

	汚	臭	暗	怖	狭	身
天満	3	4	3	4	3	無
大坂	2	2	4	2	1	有
福島	4	3	2	3	2	無
野田	3	3	4	3	2	無
西九条	2	2	2	1	2	無
弁天町	3	2	2	2	3	有
大正	4	3	3	2	4	無
芦原橋	2	3	2	2	2	有
新今宮	2	3	2	2	4	有

※汚…汚さ、臭…臭さ、暗…暗さ、怖…怖さ、狭…狭さ、身…身体障害者用トイレの有無をそれぞれ示している。

② 主要百貨店トイレ調査結果

調査の結果、百貨店のトイレは他のトイレと違い、明らかに「客」を意識した様々な演出や仕掛けが凝らされているという事が分かった。例えば①照明は少し暗めに抑え、洗いムードを漂わせている。とかも其処から怖いという印象は全く受けない。②ルームや鏡等は大きめで、ゆったりとした雰囲気が在る。③掃除が行き届いており何時も清潔である。④色々便利な装置が在る、などである。

ちなみに此の「便利な装置」であるが、我々が調査したトイレにおいては赤外線式の自動水流装置、温風乾燥器や手拭き用の紙等が見られた。

▼表6 主要百貨店トイレ調査結果

	汚	臭	暗	怖	狭	身
近鉄百貨店アベノ店	2	2	4	2	3	無
高島屋百貨店本店	2	2	4	3	3	無
阪神百貨店	2	3	3	3	3	無
大丸百貨店心齋橋店	2	2	4	2	2	無
大丸百貨店梅田店	2	3	4	2	2	無

(順不同)

※記号に関しては前表と同じ。

(3)調査結果考察

① 大阪環状線一周トイレ調査考察

駅のトイレの特徴は先程述べたので其処から考えられる事を纏めていく。

駅のトイレの、実用一本槍的な性格と障害者に対する配慮を考えると、駅は沢山の人が集まる所であるから、「誰にも愛される、使い易いトイレ」を目指しているのではないかという仮説が立てられる。

② 主要百貨店トイレ調査考察

百貨店のトイレに関しては、その豊かな装飾性と、随所に見られる便利な装置等から、「排泄の為の場所ではない、あくまで合理性を追求したヒューマンライフにおける最大の快感を得る為の施設」を究極の理想とする位置付けがなされているという事が言えるであろう。

(4) まとめ

採ったアンケート結果を基に調査を開始したのだが、調査の対象が少し偏ってしまい(駅以外のサンプリングデータが少なすぎる)、少し説得力に欠ける面があった所が残念だった。しかし大筋の目的であるアンケートの裏付けは一応出来た様なので、これはこれで良いとすべきだと思うがどうだろうか。(奥田)

3 真の公衆トイレとは?

(1) 真のトイレの条件

私達はこれまで466名の方々にアンケート調査をし(1章参照)、また60ヶ所のトイレについて調査してきた(2章参照)。これらを分析していくなかで私達は、次の3つの条件をクリアできるトイレなら、使い易い、素晴らしいトイレとなるという事を論ずることができた。

- ① 4Kのないトイレ
- ② 自然を破壊しないトイレ
- ③ (水洗・非水洗を問わず)どこでも使えるトイレ

(2) リサイクル・トイレとは —真に最も近いトイレ—

(1)の①~③の条件と文献から、トイレをリサイクル化することが最も理想的手段であることに気がついた。そこで、ここではリサイクル・トイレというものについて3つのシステムを紹介する。

① 完全燃焼型トイレとは

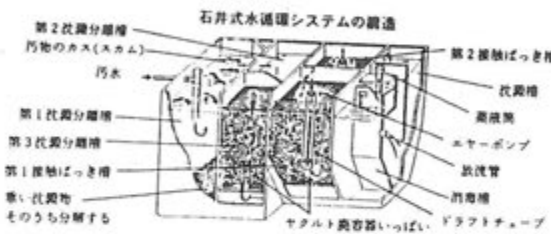
レンタル会社では最大手のニッケンが開発した最初のリサイクルトイレ。糞尿を燃料で完全に焼いて石にしてしまうシステムである。昭和天皇の大喪の礼で臨時トイレとして使われ有名になった。

② コンポストトイレとは

完全燃焼型トイレの改良版として現在開発中。燃料で糞尿を固めて肥料にしてしまうシステムである。正に食物連鎖を成り立たせる意味でも重要なシステムであると言える。(尚、コンポストは“たい肥”を意味する)

③ 石井式水循環システムとは

現在、下水道に代わる新しいシステムとして研究されている超弩級の浄水力を持つ浄化システム。比較的簡単な構造で抜群の浄水力を持つところがこのシステムの利点。小型化に成功すると、新たな公衆トイレのシステムとして、上



燃焼トイレ構造図

▲図1 完全燃焼型トイレ(左)と石井式水循環システム(右)の仕組

の2つのトイレにとって良きライバルとなることだろう。

	長 所	短 所
完全燃焼型トイレ (焼いて灰にする)	処理がたく、何処でも使用できる。又4Kの心配も無い。	1回当たり300℃の温度を20分間保つだけの熱量が必要。
コンポストトイレ (焼いて肥料にする)	焼いた物を肥料として再利用する事が出来る。	処理の都合上、完全に燃焼しないので少々臭う。
石井式水循環システム (分解して浄化する)	細菌を利用して浄化するので燃料不要。仕組が単純。	現在の段階では設備そのものの規模が大き過ぎる。

▲表7 リサイクルトイレ3種のそれぞれにおける長所と短所

上の3つを見ている限り、リサイクルトイレのシステムもまだまだ完璧とは言えない。しかし、十数年後には、多分私達の近くの公衆トイレの一部もリサイクルトイレに取って替わられる事になるだろう。又リサイクルトイレがその頃でもまだ未開発な場合は、別のシステムによって改良されて行くことだろう。

結局我々は、「究極のトイレ」とは、排泄した物をもう一度利用できるリサイクルトイレである」という結論を導き出す事が出来た。

近年、環境保全が叫ばれる様になって久しいが、そんな観点から見ても、自然の理にかなったリサイクルトイレは、次代を担う素晴らしいトイレであると言う事が出来る。

色々述べてきた様な気がするが、結局我々にとってトイレとは無くしてはならない物であり、かつ切っても切れない縁で結ばれているという事が少しでも分かって頂ければ幸いである。

(鈴木&奥田)

5 トイレのBGMと日本トイレ協会

(1) the music of toilet

音楽が人間の心に対して効果があることは、皆さん御存知の通りである。そして、近ごろ音楽は身体にも関係してくることが、ささやかされてきた。そういう時、ある新聞に「音楽は便通と関係ある」らしい事が西岡秀雄氏の名と共に書かれてあった。西岡という名は、僕がトイレ研究をしている時何度も見た名前であった。その為、その著名な人に質問でもできたら...と思い、その質問などの手紙を送った。

Q、今、貴方は音楽と便通の関係について調べていられるらしいですが、どんな事がわかったかお教え下さい。

A、未だ科学的なことは何も判っていません。日仏トイレフォーラムで発表した資料はAです。

この資料Aというものをまとめると、下のようなものになる。

トイレのBGM

- ・くつろいだ気分で用をたしたい時に...
 - ♪ベートーヴェン交響曲第6番へ長調「田園」第1楽章
 - ♪J. シュトラウスII 円舞曲「ウィーンの森の物語」
- ・秋、もの思いにふけりながら...♪ブラームス 交響曲第4番ホ短調第1楽章
- ・洋式トイレで眠るようにしたい時に...
 - ♪J. S. バッハ ゴールドベルク変奏曲ト長調
- ・こどものために ♪モーツァルト キラキラ星の主題による変奏曲ト長調
- ・便秘がひどい人に ♪ラヴェル ポレロ
- ・ウンコが堅い人に ♪チャイコフスキー 交響曲第6番ロ短調「悲愴」第3楽章
- ・あわててトイレに飛び込んだ、ひどい下痢の人に...
 - ♪サン・サーンス 交響曲第3番ハ短調「オルガン付」第2楽章後半部
- ・30分にわたる下痢との戦いと解放!
 - ♪ベートーヴェン 交響曲第5番ハ短調「運命」全曲
- ・オシッコだけの人のために
 - ♪シューマン 交響曲第3番変ホ長調「ライン」第1楽章
- ・すぐ終わってしまう人のために
 - ♪サティ ゴチック舞曲(わが魂の大いなる静けさと堅固な平安のための九日間
の祈禱)
- ・一度入ったら出て来ない人のために ♪ワーグナー ニーベルングの指輪
- ・トイレにBGMなど要らぬ!という人に ♪ケージ 4分33秒

(2) 日本トイレ協会

日本トイレ協会とは、1985年5月15日に発足した任意の団体であり、トイレ問題をさまざまな角度から自由に論じようとの考え方をもち、会長には西岡秀雄氏が就いておられる。この西岡秀雄氏は、慶應義塾大学名誉教授で大田区立郷土博物館長も併任されている。世界の良いトイレに対して西岡賞を設立し昨年パリとストックホルムのトイレが初受賞した。トイレ協会は、日本のよいトイレに向けて、「グッドトイレ10」を毎年決定している。我々の身近なところでは、第一回(昭和61年度)